

2017年9月1日
イオン株式会社



**2020年までにグループ従業員約7万人が「ユニバーサルマナー検定」を取得
～従業員1人ひとり、お客さま1人ひとりの考えを受容し、活かす企業へ～**

イオン株式会社（代表取締役社長：岡田 元也以下、イオン）は、グループ企業の従業員をはじめ、グループの商業施設内のテナントで働く方々を対象に「ユニバーサルマナー検定3級」（主催：一般社団法人日本ユニバーサルマナー協会（大阪市 代表理事：垣内 俊哉氏））の取得と、「LGBT対応マナー研修」の受講を進めます。「ユニバーサルマナー検定」は、高齢者や障がい者への基本的な向き合い方やお声がけ方法を学習するもので、2020年までに7万人の取得を目指します。

イオンは、前身のジャスコ創業以来「国籍・年齢・性別・従業員区分等を排し、能力と成果に貫かれた人事」を人事の基本的な考え方として、多様な人材の活躍を企業成長の原動力としてきました。2013年には、「日本一女性が働きやすく、活躍できる会社」の実現を目指し「2020年女性管理職比率50%」という数値目標を掲げ、グループを挙げてダイバーシティ経営を推進しています。

本年からは、2020年に多様な方々が「働きやすい”お買物しやすい”店No.1」を目標に加え、女性活躍推進とともに多様な方々が活躍できる企業づくりを進めます。その一環として、これまで進めてきたバリアフリー新法に基づく独自の設計基準、ユニバーサルデザインを取り入れた店舗づくりといった「ハード面のバリアフリー」、さらに従業員が自分と違う方を思いやり、適切な行動をとれるよう「心のバリアフリー」に取り組みます。

イオンは同検定取得と「LGBT対応マナー研修」を、グループダイバーシティ推進研修「“ダイ満足”カレッジ マネジメントコース」の1テーマとして組み込み、9月5日（火）にイオンシネマ幕張新都心（イオンモール幕張新都心グランドモール内）にてキックオフを行います。

イオンは今後も、絶えず革新し続ける企業集団として、お互いを尊重しあう企業風土づくりに努めてまいります。

■9月5日（火）“ダイ満足”カレッジについて■

日 時：9月5日（火）

会 場：イオンシネマ幕張新都心（イオンモール幕張新都心グランドモール内）

住所：千葉市美浜区豊砂1-1

内 容：①講演

垣内 俊哉 様

株式会社ミライロ代表取締役社長

一般社団法人日本ユニバーサルマナー協会代表理事

日本財団パラリンピックサポートセンター顧問

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会アドバイザー

②ユニバーサルマナー検定研修（3級）

③LGBT対応マナー研修

ユニバーサルマナー検定とは



ユニバーサルマナー検定

一般社団法人日本ユニバーサルマナー協会（代表理事：垣内 俊哉氏）が主催している検定で、同検定3級は、高齢者や障がい者への基本的な向き合い方やお声がけ方法を学びます。3級取得講座では「ユニバーサルマナーとは」「人と人との違いを考えよう」「どんな人がどんなことに困っているのか」「代表的なお声がけ方法」など基本的な内容に加え、多様な方々の心理状況を考えるワークを行います。

LGBT対応マナー研修とは



LGBT（レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー）をはじめとする、多様なセクシュアリティの人が抱えやすい悩みや不安を知り、必要な配慮やサービス対応を学びます。マイノリティであるがゆえに直面することを理解し、さり気ないサポート、対応スキルや知識の習得、ダイバーシティ推進に繋がります。

【ご参考：イオンのユニバーサル・バリアフリーの取り組み】

店舗づくり

1994年に施行された「ハートビル法（2006年から「バリアフリー新法）」にもとづく独自の設計基準を作成し、新店舗の建築や既存店舗の改築時に活用しています。2017年2月末現在、750以上の施設が「バリアフリー新法」の認定を取得しています。また、「ユニバーサルデザイン」の考え方を店舗づくりに採り入れ、機能・デザイン面を強化しています。今後、従来のお客さま層に加えてシニア層のお客さまが増えることを考慮し、ユニバーサルデザインの考え方を全店舗に広げていくことを目指しています。



視線に入りやすいサイン

人づくり

<認知症サポーター>

従業員が認知症を正しく理解し、適切なサポートを実践できるよう、イオンは2007年から厚生労働省とNPO法人「地域ケア政策ネットワーク」が協働で推進している「認知症サポーター」（「認知症サポーター養成講座」受講者）や、同講座の講師（企業内キャラバン・メイト）の養成を進めています。2017年2月末現在、「認知症サポーター」は日本国内企業で最大規模の累計63,688人、「キャラバン・メイト」は899人になりました。



認知症サポーター養成講座の様子

<LGBT研修>

2015年、グループの人権基本方針に「性的指向と性自認などを理由とした差別を一切行わない」とする内容を盛り込みました。同基本方針に基づき約2万人の従業員が、LGBT研修を受講しています。その結果、2016年にはイオン(株)と、トップバリュコレクション(株)がLGBT(性的マイノリティ)に関するダイバーシティ・マネジメントの促進と定着を支援する任意団体 work with Pride (wwP) が策定したLGBTに関する取り組みの評価指標「PRIDE指標」で、それぞれ「シルバー」を受賞しました。

work with Pride



「シルバー」表彰マーク

【ご参考：イオンのダイバーシティの取り組み】

“ダイ満足”

イオンでは、「ダイバーシティが生み出す「従業員・従業員の家族」「お客さま」「会社」の満足」を“ダイ満足”と表し、グループを挙げてダイバーシティ経営の実現に向けて取り組んでいます。
※イオンのホームページ <http://www.aeon.info/diversity/>

“ダイ満足”サミット

グループ各社のダイバーシティ推進責任者・リーダーが参加する“ダイ満足”サミットを2014年4月、約65社180名でキックオフしました。情報共有や新しい知識のインプットを行う全体会議を年4回実施しています。



“ダイ満足”アワード

ダイバーシティ推進企業を表彰するグループ内で独自のアワードを年1回実施。グループ企業の優れた取り組みを表彰してその実践方法を共有することにより、グループ企業の活動の推進力を高めています。

“ダイ満足”カレッジ

キャリアデザインコース（入社5年目の女性社員対象）
キャリアアップコース（管理職候補の女性社員対象）
マネジメントコース（現管理職対象）
トップマネジメントコース（女性役員候補対象）の4つのコースを開講。ダイバーシティ経営実現に向けた人材の育成と啓蒙の機会としてグループ各社が参加しています。マネジメントコースの研修では、グループ会社のシネマ会場を中継で結び開催しています。



以上